

マクダーモットのシカゴ・ブリッジ・アンド・アイアン(CB&I)買収以降の経緯

- 2017年12月18日 CB&Iの買収を発表。
- 2018年4月20日 海洋石油ガスのエンジニアリング・建設を手掛けるサブシー7社によるマクダーモットの買収(1株当たり7ドル)申し出を取締役会が拒否。
- 2018年5月10日 CB&Iの買収を完了。
- 2018年5月15日 バークレイ銀行による支援(22億6,000万ドルのシニア担保付ターム・ローン・ファシリティ、10億ドルのシニア担保付回転信用枠、13億9,000万ドルのシニア担保付信用状)。
- 2018年10月30日 2018年第3四半期決算報告でキャメロン LNG、フリーポート LNG、カルパイン・ガスタービン発電所の建設にかかる7億4,400万ドルの下方修正を発表。
- 2018年11月6日 マクダーモットの会長、CEO、CFOが自社株115万ドルを購入。
- 2019年2月25日 2018年第4四半期決算報告でキャメロン LNG、フリーポート LNG、カルパイン・ガスタービン発電所の建設にかかる損失(地域的な労働者の能力・質の限界、それに伴う及び生産性の低下に伴う行程遅延等による)が、2018年を通じて27億ドル、2018年第4四半期だけで22億ドルになると発表。
- 2019年7月29日 2019年の損益に関し、当初は1億7,000万ドルの利益を見積もっていたところ、3億1,000万ドルの純損失見込みと発表。
- 2019年9月23日 IHS Markitなどの情報によれば、22億ドル分のターム・ローンのローン債権が1ドル分あたり77セントで、13億ドル分の無担保債(利子10.625%)は1ドル当たり36セントで取引された。
- 2019年11月4日 CFOのステュアート・スペンス氏が辞任。
- 2019年11月5日 2019年第3四半期決算報告で、同四半期だけで21億ドルの収益を上げながらも、全体では19億ドルの損失になり、うち15億ドルの損失が株価の急落およびコスト超過によるものと発表。
- 2019年11月8日 株価が1ドルを割り込み、この状態が1カ月以上続けば、ニューヨーク証券取引所の規定により上場廃止。
- 2019年12月18日 フリーポート LNG 第二系列から最初の LNG の積出しが発表される。また、同日の株価が1ドルを超える。
- 2019年12月30日 株価が1ドルを再び割り込み、連邦倒産法第11章に基づく再建手続き申し立ての準備を進めていると発表。
- 2020年1月21日 連邦倒産法第11章に基づく再建手続き申し立て手続きに入ることを発表。